

『環』の公共事業 構想ガイドライン (事後評価)

		作成年月日	平成19年3月6日	
		作成部署	土木建築部河川整備管理室	
事業名	小畑川京の川づくり事業	地区名	京都市西京区大原野東境谷町	
概算事業費	約2.25億円	事業期間	平成9年度～平成14年度	
事業概要	<p>京都にふさわしい河川環境を整備する「京の川づくり事業」の一環として (1)河川と地域の関係を再構築し (2)河川を通じたコミュニティを創出することにより (3)よりよい環境づくりや地域の活性化を図ることを目的に 洛西ニュータウンのシンボルとなる“まつりの場”としての整備を行った。 整備延長：L=200m 主要施設整備：水辺舞台工、遊歩道工、スロープ工</p>			
関連公共事業	緑の河川復活事業により間伐材を利用し、良好な自然環境の保全・整備等を実施			
ガイドライン		施工地の環境特性、 配慮・措置内容	施行後の環境配慮 ・改善内容	環境 評価
主要な評価の視点				
地球環境・自然環境	地球温暖化 (CO ₂ 排出量等) 地形・地質 物質循環(土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など	当該箇所周辺は桜並木の 名所として地域住民に親し まれているが、本河川沿い においても都市における緑 空間を創出する一環として、 河川沿いに桜の植栽を行 い、周辺環境との調和を図 った。	生物生息地の保全な ど、多様な自然環境の 再生については、別途、 緑の河川復活事業で実 施しており、両事業を 連携させて河川とその 周辺地域での環境改善 に努める。	△
生活環境	水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質・粉塵 電磁波・電波・日照 など	廃棄物を抑制するため、 事業実施に伴い発生した既 設護岸の取り壊し殻をリサ イクル処理場に持ち込み、 再生材等への再利用を図 った。	当施設は住民の憩い の場として活用されて おり、安全な空間とし て、適切な維持管理に 努める。	△
地域個性・文化環境	景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 など	当該箇所周辺は、桜や常 緑樹の並木と遠景の山並み が調和し美しい景観が形成 され、住民の憩いの空間と なっている。このため桜を 植樹するなど周辺景観に配 慮した。また、都市空間に おける自然環境との交流拠 点として、地域住民が水遊 びなどで河川に親しめるよ う、親水性を高めるため の拠点整備を実施した。	水際へのアプローチ が向上したことにより、 現在、地域住民の憩い の場として活用されて いる。今後も活用がさ れるよう、適切な維持 管理に努める。	○
地域の環境像	本河川は洛西ニュータウンの中心に位置する都市型の河川であるため、地域住 民の憩いの場として、親水機能を高め、美しい河川景観を維持するとともに、多 様な生物が生息できる空間として自然を再生していく必要がある。			
特記事項				